

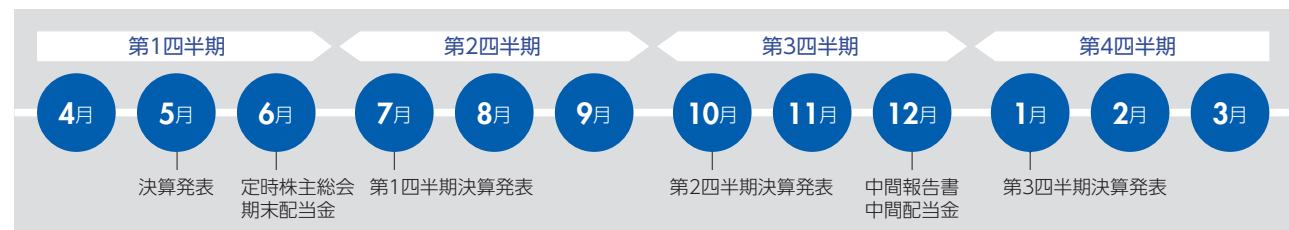
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031（フリーダイヤル） https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出下さい。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。

■ 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。



📄 当社ホームページのご案内

<https://www.niv.co.jp/>

NITTAN

検索

当社の企業情報をはじめ製品情報や、株主・投資家向けのIR情報など、様々な会社情報を掲載しております。
是非ご覧下さい。

トップページ



IRページ



「NITTAN Challenge 10」と 「新たな創造への挑戦」



NITTAN REPORT

第101期 上半期報告書

2022年4月1日—2022年9月30日
証券コード：6493

INDEX

- | | |
|-------------------|-------------|
| 01 トップインタビュー | 07 セグメントの概況 |
| 04 連結財務諸表 | 10 会社・株式情報 |
| 05 特集
海外子会社の紹介 | |

「何事に関してもシンプルに捉えて、スピーディーに対応する」をスローガンに掲げ、持続的な企業価値向上を目指します。

リー・テファン
代表取締役社長 李 太煥

Q 当第2四半期の概況についてお聞かせ下さい。

A 当社グループが最も影響を受ける自動車業界では、半導体等の部品不足による供給制約は一部で緩和されつつあるものの、生産が未だ本格的な回復トレンドに回帰しない等、予断を許さず、ロシア・ウクライナ情勢等に起因する資源価格の高騰に加え、世界的な金融引き締め等による経済への影響に留意する必要がある状況となりました。

このような状況下、当第2四半期の業績は、売上高が前年同期比6.0%増の203億55百万円、営業利益が前年同期比73.1%減の3億54百万円、経常利益が前年同期比58.6%減の5億57百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失が45百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益5億52百万円）となりました。

中国でのロックダウンや半導体等の部品不足による生産調整の影響はあったものの、為替換算の円安効果等により前年同期に比べ増収となりましたが、為替換算の影響を含めたエネルギー

及び原材料価格等の上昇に伴う生産コスト等の増加により、減益となりました。

Q 中長期経営ビジョンについてお聞かせ下さい。

A 中長期経営ビジョンであるNITTAN Challenge 10（以下NC10）では、2030年の目標達成（売上高1,000億円以上／営業利益額100億円以上／売上高営業利益率10%以上）に向けて、ICE（内燃機関）領域、脱炭素エンジン領域・駆動領域、xEV領域と各分野での成長戦略を掲げております。その成長を支える外部環境としまして、先進国では電気自動車等を中心にxEV領域が拡大し、新興国ではインフラ整備の課題等を考慮し、ガソリン・代替燃料車を中心としたICE領域が、引き続き必要とされることを見込んでおります。

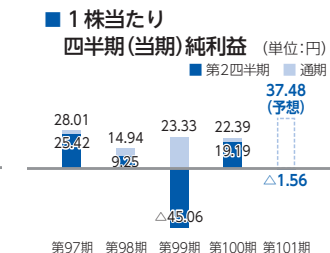
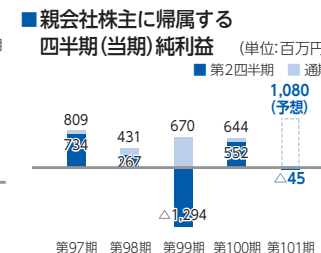
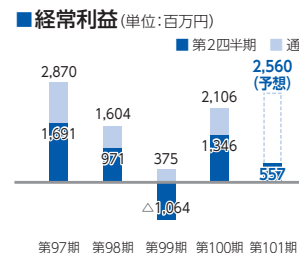
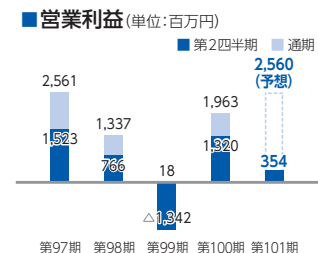
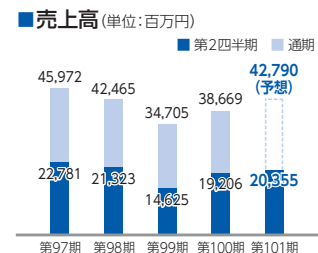
『VISION I』（ICE有効活用領域）では、既存技術を活かし更なる付加価値向上製品の開発を進めております。中国やアジアを中心とした新興国向けにエンジンバルブの製造販売を加速させ、営業利益率15～20%を達成し、収益基盤とすることを目指しております。

『VISION II』（xEV領域）では、主に先進国を中心に脱炭素化を背景としたEV化に関わる新たな開発と商品化への挑戦をしています。例えば、同社独自開発中の増・減速機（ニクストロイド）を自動車だけではなく、幅広い分野

への活用を検討するなど、技術力を背景にしてNC10の幅と奥行きを広げていく構えです。また、新規事業を成立させていくために、お客様との共同開発案件の強化、各国のパートナーとの連携強化、量産拠点最適化などの各種戦略は、慎重且つ計画的に描いていきます。



連結財務ハイライト

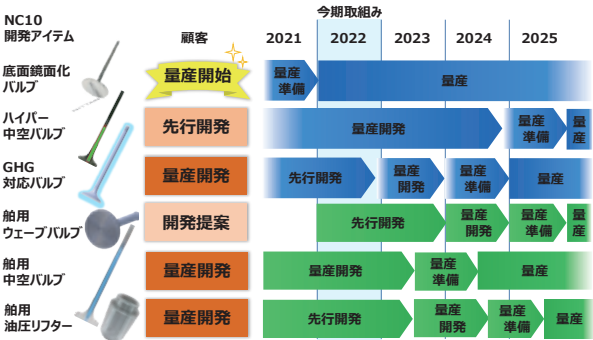


Q NITTAN Challenge 10の進捗についてお聞かせ下さい。

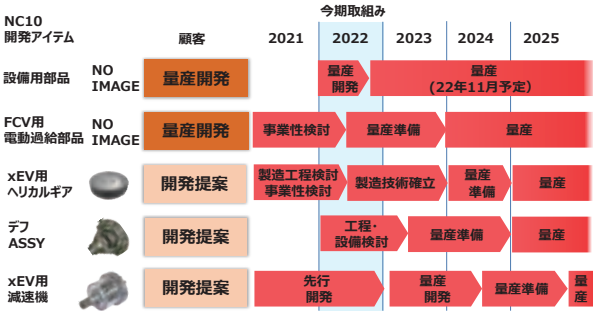
A まずは、『VISION I』における進捗といたしまして、GHG(温室効果ガス)対応エンジンバルブのみならず、既存事業の進化系である船舶用の中空エンジンバルブや油圧リフターの量産開発に挑戦しております。なお、GHG(温室効果ガス)対応エンジンバルブの開発および客先提案を推進すべく、水素の製造と供給のノウハウがある岩谷産業様の協力を得ながら、エンジンバルブの「摩耗試験機」を水素燃焼環境でも再現できるように改造・整備を進めております。ハイパー中空バルブに関しましては、社内開発に見通しを付け、お客様の評価に進んでいます。そして、未だ開発の検討段階となりますが、船用ウェーブバルブを新たな新戦略商品として加えております。最後に、底面鏡面化バルブは北米の拠点にて2022年9月より量産を開始いたしました。また、中国の拠点でも2022年11月に量産開始予定です。

次に、『VISION II』における進捗といたしまして、代表開発アイテムである当社独自開発中の増・減速機(Nixtroid:ニクストロイド)を自動車だけではなく、電動小型モビリティへの採用を視野に入れ社内開発を行っております。他にも既存の駆動部品における製造技術を応用したxEV用ヘリカルギアやデフASSYは、お客様への開発提案を行っている段階であり、2025年の量産開始を目指しております。FC用電動過給部品は、事業性検討の段階からお客様との量産開発段階へ順調に進捗しております。最後に、詳細をお伝えすることは出来ませんが、従来の主要顧客である自動車業界以外の新規開拓市場向け製品の受注を獲得いたしました。なお、新規開拓市場向け製品は2022年9月より量産を開始しております。

NC10 “VISION I” の開発計画

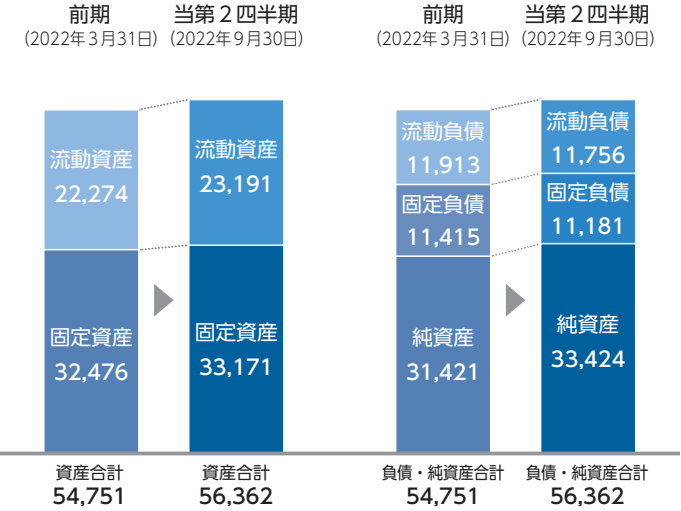


NC10 “VISION II” の開発計画



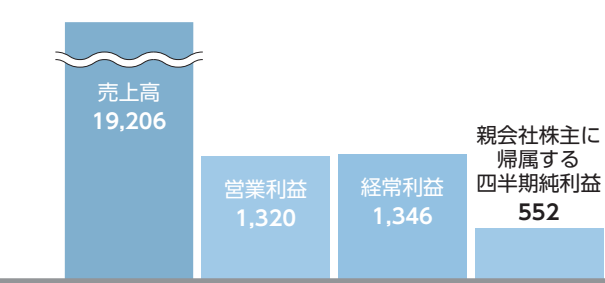
連結貸借対照表

(単位：百万円)



連結損益計算書

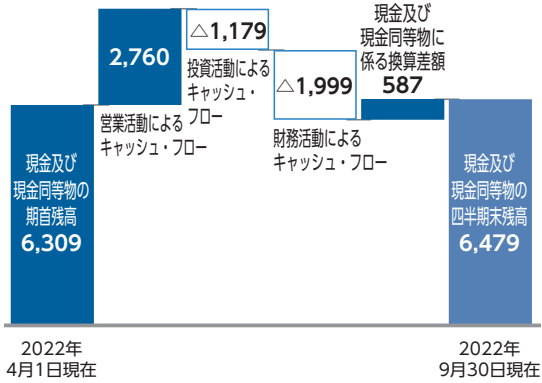
前第2四半期累計
(2021年4月1日から2021年9月30日まで)



連結キャッシュ・フロー計算書

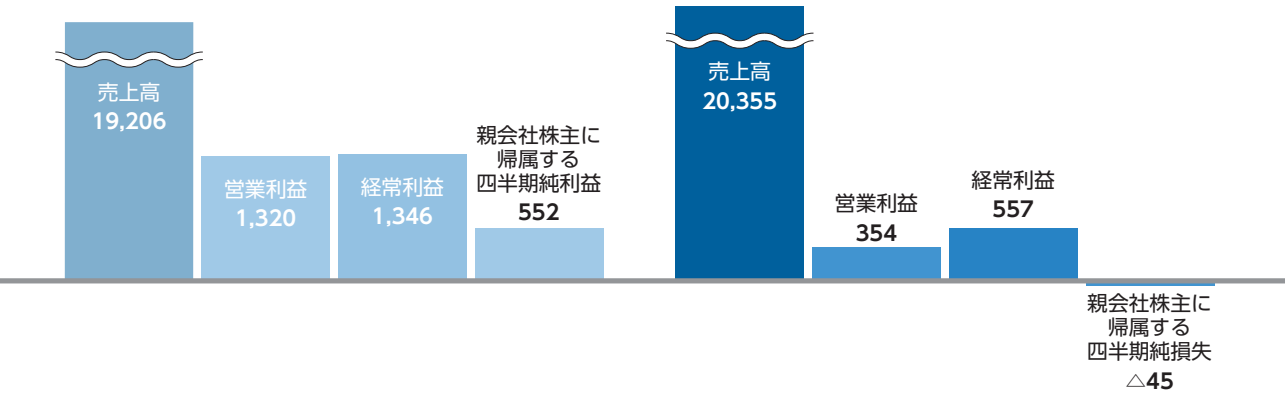
(単位：百万円)

当第2四半期累計
(2022年4月1日から2022年9月30日まで)



(単位：百万円)

当第2四半期累計
(2022年4月1日から2022年9月30日まで)



広州日鍛汽門有限公司

商 号 広州日鍛汽門有限公司
所 在 地 中国広東省広州市
代 表 者 六浦満夫(董事長)
出資比率 当社:51% その他:49%
社 員 数 256名
設 立 2003年4月
会社信条 品質こそ企業の基盤

会社の経営理念

先進的な技術、品質優先、お客様のニーズに応える、社会貢献、生命の尊敬

広州日鍛は広州市黄埔区に設立されました。同社は2003年4月に設立され、18,532m²の面積を占めております。自動車及びオートバイ用エンジンバルブの生産拠点として、2004年5月に正式に生産を開始しました。ホンダ様、マツダ様や日野様などの日系企業をはじめ、中国国内企業の春風様、韓国の企業である現代起亜様等とも取引をしており、中国でトップシェアを誇る企業です。

私達はNITTANグループのポリシー・技術を活用しながら、品質・技術を高め、内燃機関の部品で、最も品質基準が厳しい部品であるバルブを提供しております。社内ではNPM



活動を重視しており、原材料の受入れ検査から、製造工程での作業標準、各工程での品質保証、最終的な完成品検査に至るまで、厳しい社内標準を設けています。

社員を第一に考え、社員のスキルアップの為に各研修を設けており、日常生活を含めてサポートをしています。そして、良い職場雰囲気を作る為、定期的に全社的な活動を行い、福利厚生にも力を入れて社員の満足度を上げる様に努力を続けております。

今後、NITTANグループのNo.1子会社になれる様に、従業員全員の力を合わせて、改善と改革を進めて参ります。



2022年7月 運動会



2022年8月 新機種安全宣言合格

海外子会社
インタビュー

李 鉄丁 (リ ティエディン) 氏

1. 会社の雰囲気についてお聞かせください。

2011年4月に広州日鍛に入社してから11年半が経過しました。現在は、製造課へ配属、班長として業務にあたっております。新型コロナが流行する前は、年に一度、董事長と総経理を含め従業員全員を対象としたイベントが開催されました。皆と一緒に旅行し、和気あいあいと話し合うことでストレスが解消され、チームワークが向上の役割も果たすことが出来ました。今年は久しぶりに社内での全社的活動としてスポーツ大会を行いました。競技中に汗をかきながら皆と一緒に笑い、楽しい時間を過ごしました。競技の中で、各部署のチームワークの良さを実感できました。新型コロナが発生した時、会社のリーダーは監督を強化し、社員の動向を把握し、社員の健康に注意を払いながら緊急対応の仕組みを作りました。社員は一致団結し努力で新型コロナの予防作業を大成功させました。そこで培った経験を今後も広州日鍛の仕事と発展に活かし、貢献したいと考えております。



2. 業務を行う中でどのようなときにやりがいを感じますか？

入社当初は、4ラインの一研工程を担当していました。その後、3年間の勉強と努力を続け、後工程の一研から軸仕上げまでの段取りと調整技術を習得できました。そして技術者に昇格し、更に一年後に生産ラインの班長に昇格することができました。

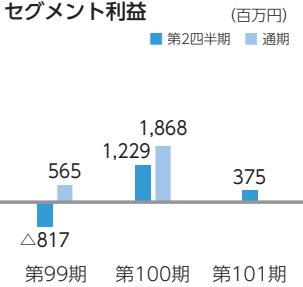
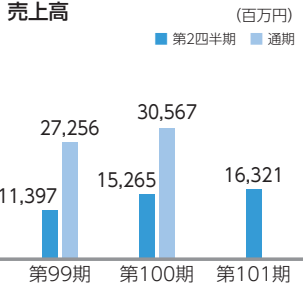
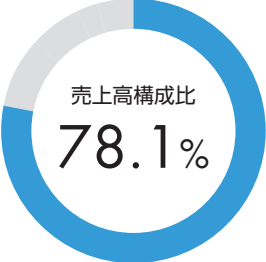
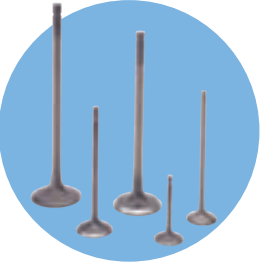
入社した時、会社はまだ5つの生産ラインしかありませんでしたが、この11年半、会社と共に成長してきて生産最大時は14ラインまで稼働したことがあり、現在は12ラインです。会社の将来性に展望を感じることができ、達成感がある人生の旅となりました。このインタビューをきっかけにして会社にこつこつと貢献している同僚達に心から感謝及び敬意を表し、今後も会社と共に成長したいと考えております。



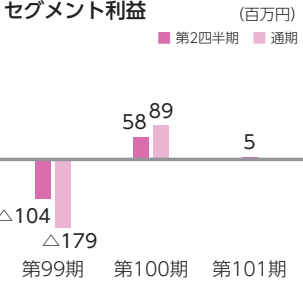
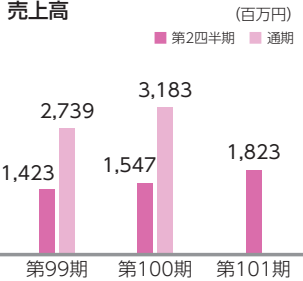
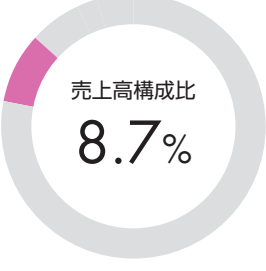
ポイント

- 小型エンジンバルブ事業は、急激な円安の影響により、前年同期比では増収ではあるものの、エネルギー及び原材料価格高騰や半導体等の部品不足等による生産調整の影響により、利益面では減益となりました。
- 船用部品事業は、国内顧客向けは高単価な船舶用補用部品の販売が好調であり、海外顧客向けも船舶用補用部品を中心に受注回復により増収ではあるものの、エネルギーや原材料価格の高騰の影響により減益となりました。
- 歯車事業は、半導体不足等による生産調整の影響により自動車用製品の受注減少や産業機械用製品も回復基調にあるものの、本格的な回復とはならず減収となりました。また、受注状況に応じた製品価格改定や人員配置の適正化等を行っているものの、受注減少に伴う固定費の圧迫やエネルギー及び原材料価格高騰により損失が拡大しました。
- PBW事業は、半導体不足等による生産調整や製品価格改定等の影響により減収ではあるものの、生産性の改善や省人化等により増益となりました。
- その他事業は、バルブリフターにおける一部製品の転注により、前年同期比で減収となりました。

小型エンジンバルブ事業



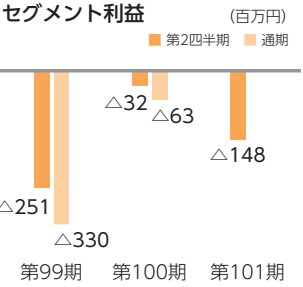
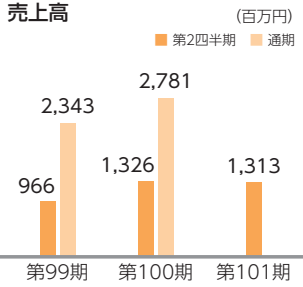
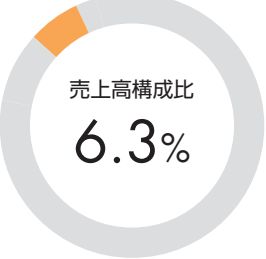
船用部品事業



歯車事業



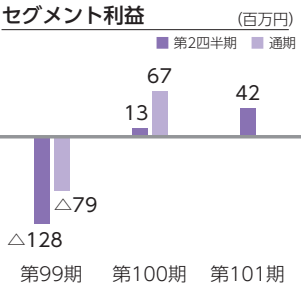
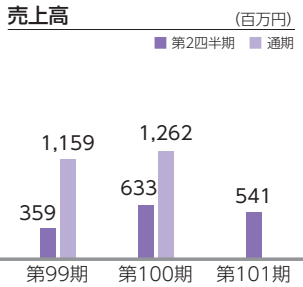
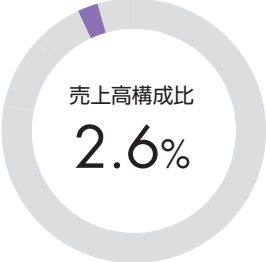
精密鍛造歯車
(ベベルギア、ピニオンギア、ドライブギア)



PBW事業



パーキングブレーキ用部品

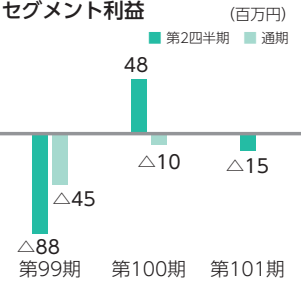
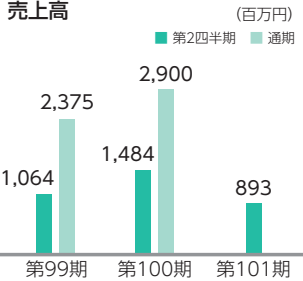
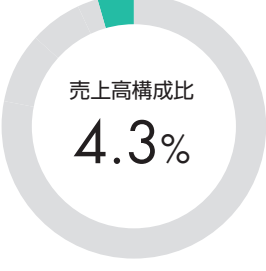


その他事業



ローラー
ロッカーアーム

農作物

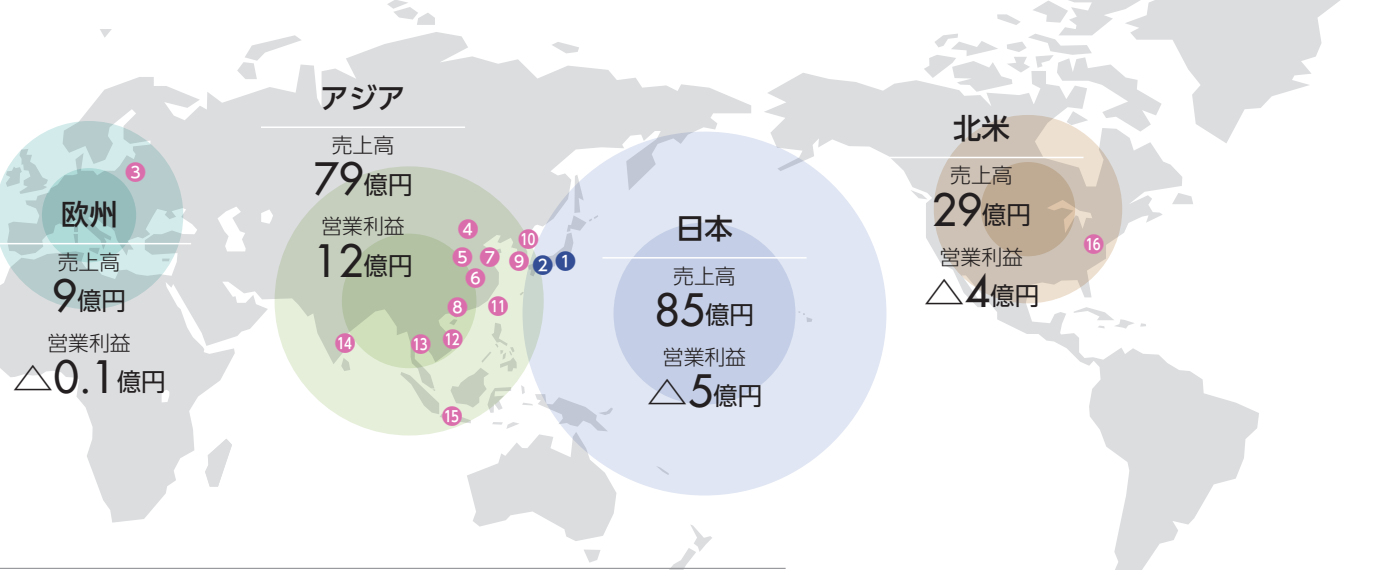
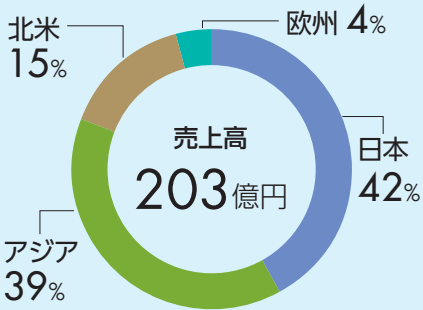


(注) 1. 各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。
2. 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
3. 「可変動弁・歯車・PBW」を第100期より独立した区分表記に変更し、可変動弁は「その他」に含めて表示しております。
4. 「その他」の区分は、可変動弁、バルブリフター、工作機械製造販売、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。

地域別セグメントの概況

ポイント

- 日本では、半導体不足等の影響により受注が減少し、特に傘中空弁の減少が売上・利益双方に響きました。原材料価格や電力料等の上昇も営業赤字の大きな要因になりました。
- アジアでは、急激な円安の影響により増収ではあるものの、中国でのロックダウン等の影響による受注減少やそれに伴う固定費の圧迫により減益となりました。
- 北米では、急激な円安の影響により増収ではあるものの、受注減少に伴う固定費の圧迫により損益は悪化しました。
- 欧州では、新規製品立上げに伴い増収ではあるものの、利益面で黒字回復には至りませんでした。



グローバル生産拠点

● 国内生産拠点：2拠点 ● 海外生産拠点：14拠点

- ① 本社工場・堀山下工場(神奈川県)

② 山陽工場(山口県)

③ ニッタン・ユーロ・テック sp.z o.o.(ポーランド)

④ 北京柳成新和汽車部件有限公司(中国) ☆

⑤ 日照柳成新和汽車部件有限公司(中国) ☆

⑥ 日照艾斯琵汽車部件有限公司(中国) ☆

⑦ 日照日鍛汽車部件有限公司(中国)

⑧ 広州日鍛汽門有限公司(中国) ※注3
- ⑨ 新和精密株式会社(韓国) ☆

⑩ ケイエヌテック株式会社(韓国) ☆

⑪ 台湾日鍛工業股份有限公司(台湾)

⑫ ニッタンベトナム Co., Ltd.(ベトナム)

⑬ ニッタンタイランド Co., Ltd.(タイ)

⑭ ニッタンインディアテック Pvt. Ltd.(インド)

⑮ PT.フェデラルニッタンインダストリーズ(インドネシア)

⑯ U.S.エンジンワルブ(パートナーシップ)(アメリカ)

☆持分法適用会社となります。

(注) 1. 各セグメントの売上高は、外部顧客に対する売上高となります。
2. 記載金額は、億円未満の端数を切り捨てて表示しております。
3. 2022年12月に「広州日鍛汽車部件有限公司」へ商号変更を予定しております。

会社・株式情報

会社概要

商号	株式会社 NITTAN
本社所在地	本社工場：神奈川県秦野市曽屋518番地 東京本社：東京都新宿区西新宿8丁目4番2号 野村不動産西新宿ビル2F
設立	1948年(昭和23年)11月10日
資本金	4,530,543千円
従業員人数	連結 2,542名(2022年3月31日現在) 単体 707名(2022年9月30日現在)

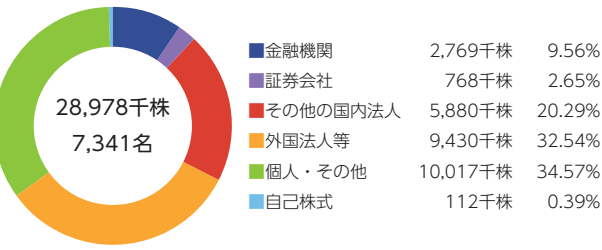
役員一覧 (2022年9月30日現在)

代表取締役会長	金原利道
代表取締役社長	李太煥
取締役執行役員	安藤輝明
取締役	鈴木隆司
取締役執行役員	栗原伸元
取締役執行役員	高橋幸一
取締役(社外)	石垣和男
取締役(社外)	熊平美香
取締役(社外)	徳永健二郎
監査役(常勤)	菊地浩二
監査役	井上文雄
監査役(社外)	山田章雄
監査役(社外)	工藤光和
上席執行役員	桧村雅人
執行役員	菊川春房
執行役員	田中靖彦
執行役員	村山誠治
執行役員	遠藤浩光

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	89,000,000株
発行済株式総数	28,978,860株
株主数	7,341名

株式分布状況 (2022年9月30日現在)



大株主 上位10名(2022年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イートンコーポレーション	5,017	17.38
KSD-KB	1,376	4.77
株式会社横浜銀行	1,302	4.51
岩谷産業株式会社	1,300	4.50
本田技研工業株式会社	1,233	4.27
日本パーカライジング株式会社	1,098	3.80
PHILLIP SECURITIES CLIENTS (RETAIL)	1,058	3.67
INTERACTIVE BROKERS LLC	538	1.86
株式会社シンニッタン	517	1.79
NITTAN従業員持株会	507	1.76

(注) 持株比率は、自己株式(112,541株)を控除して計算しております。